

学習内容報告書

学校名	竹富町立黒島小学校
授業者	次呂久真司

1. 単元計画

1-1. 単元名

ビーチクリーンをゲーム化しよう

1-2. 学年

4年、5年、6年（ビーチクリーンゲーム実施の際は、小1年～中学3年が参加）

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

「スポ GOMI 甲子園」をもとに、自分たちでルールを考え、「ビーチクリーンゲーム」を作る。また、みんなで協力して、楽しみながらビーチクリーンができることを動画で発信し紹介することで、「海を守る」活動に主体的に関わろうとする態度の育成を図る単元である。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

「スポ GOMI 甲子園」をもとに、自分たちでルールを考え、「ビーチクリーンゲーム」を作る。また、みんなで協力して、楽しみながらビーチクリーンができることを動画で発信し、紹介することで、「ビーチクリーンゲーム」の楽しさを地域に伝える。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

海辺の清掃活動を通して、海の汚れは自分たちの生活や季節に関連していることに気付き、海の自然を守っていかうとする気持ちをもつことができるようにする。

1-7. 単元の展開（全7時間）

時数	◎学習活動 ・主な内容	○教師の指導 / ■主な評価 ☆外部連携 / ★ 使用教材等
1	◎昨年度の「ビーチクリーンゲーム」の反省をもとに、改善できそうなところを話し合う。 ・困ったことはなかったか。 ・もっとこうしたらよかったな。と、思ったことはなかったか。 ・昨年度の良かったところは、そのままに、改善したいところを話し合う。	○昨年度の活動写真などを見せて、振り返りながら改善できそうなところを見つける手助けをする。 ■自分の考えを持って、話し合いに参加することができたか。

2	<p>◎ビーチクリーニングゲームの準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・係決め</li> <li>・各係で仕事をする。</li> </ul> <p>(主に、ルール表や得点表の作成、分別用の写真)</p>	<p>○各グループに、「わかりやすさ」や「伝え方の工夫」を考えさせ取り組ませる。</p> <p>*昼休みに、全校児童生徒を集め、チーム発表やルール説明を事前に行った。</p>
2	<p>◎ビーチクリーニングゲームを楽しもう！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動時間は、60分</li> <li>・チームは4チーム</li> <li>・得点は、重さと点数で競う</li> </ul>	<p>○安全面に気を配り、活動を見守る。</p> <p>■海洋環境保全に主体的に関わろうとしていたか。</p> <p>☆竹富町教育委員会(トン袋を提供してくださった)</p> <p>★SDカード使用</p>
1	<p>◎ビーチクリーニングゲームのまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容は、どうだったか。</li> <li>・次年度に工夫したいことは何か。</li> </ul>	<p>○活動中に撮影した映像を見せ、活動を振り返らせる。</p> <p>■これからの海洋環境保全に目を向け、自分にできることは何かを考えることができたか。</p>
1	<p>◎動画を編集しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動画担当が、動画の編集を行う。</li> </ul>	<p>○動画の編集の仕方を教え、児童に編集をさせる。</p>

## 2. 学習活動の実際

### 2-1. 単元における位置づけ

単元  時間中の  時間目

### 2-2. 本時の目標

計画を元に、みんなで楽しくビーチクリーンゲームに取り組むことを通して、海を守っていくことの大切さに気付かせる。

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点 (方法)
<div data-bbox="137 719 759 842" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">ビーチクリーンゲームで、楽しみながら海を守ろう。</div> <p>1. ビーチクリーンゲーム担当から、ルールの確認。 (事前に一度、全体で確認はしているが、安全面等を再度確認した)</p> <p>2. 各チームに分かれてビーチクリーンゲームを行う。 ・低学年は、高学年や中学生と一緒に動くことで、楽しく活動に取り組むことができた。 ・今回は、集めた海洋ゴミの計量が勝敗の鍵となるため、制限時間内に多くのゴミを集めることができた。</p> <p>3. 計量タイム ・計量の結果を聞いて、各チーム大喜びだった。</p> <p>4. 分別タイム</p> <p>5. 振り返り Google ソフト Foam 使用 児童感想: 重いものって集めるの大変・いろんゴミがあったり、あとゴミが多すぎて取りきれなかったりしたので来年は全部取りきりたいです。</p>	<p>○茂みなどには、ハブが出現することも予想されるため、なるべく近寄らないように声かけ。</p> <p>○動画を撮りながら、励ましやサポートを行う。</p> <p>○トン袋に集めた海洋ゴミをまとめ、チーム毎に計量を行う。</p> <p>○トン袋にまとめた海洋ゴミを自分たちで分別させる。</p>

### 3. 今回の活動の自己評価

#### 【成果】

- ・児童生徒が意欲的に取り組める内容だった。
- ・動画にまとめ、地域の方々にも報告会ができたことで、達成感に繋げることができた。

#### 【課題】

- ・児童から「保護者や地域の方と一緒に、ビーチクリーンゲームをしたい」と振り返りがあった。ゲームは、児童生徒向けの取り組みであったため、次年度にはビーチクリーンの持ち方を検討する必要がある。

### 4. 今後の課題

○ビーチクリーンゲームの様子を学習発表会で地域や保護者に発表できたが、島外に広く発信したい。そのための方法を児童と考えていく。

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

○本校のある竹富町では、毎年11月頃にビーチクリーン週間が設定されている。本学習は、その活動を児童に主体性を持たせることをねらいとして取り組んだ。自治体が目指す環境保全に応じて、取り組んでほしい。また、「みんなで楽しく」を単元の中核に据えると、児童が、他者意識を持って思考するようになる。

